伯剌西爾時報

發行所 伯剌西爾時報社
電話 〇七六四・七
社長 鮫島石郎
Director M Sameshima
購讀料 一ヶ年 六十㣧 半ヶ年 三十㣧
廣告は御照會次第御返信

珈琲
サントス四級 十キロ 一八、〇〇〇
リオ七級 一二、二〇〇

爲替
對日 四、六六五
郷里澄金 五、六七〇
對米 一九、七七〇
對英 八〇、〇五〇

無敵陸軍の鐵壁化計り
獨伊へ軍事視察團を派遣
山下中將一行近く獨伊訪問の旅

【東京二十日同盟】陸軍では、今回盟邦獨伊兩國よりの招待に應じ、第二歐洲戰爭によつて現出した獨軍の驚異すべき電撃的新戰術、最新式兵器裝備などを視察研究するため、航空總監山下奉文中將を首班とし、部內各方面よりのエキスパートを簡拔した軍事派遣團を構成、派遣することになり、二十日午後四時二十分、陸軍省より次の如く發表した

驚異の電撃戰術 最新兵器を研究

而して今回の如き大規模の軍事派遣團は、第一次歐洲大戰に際し、歐洲各國に筑紫、和田兩中將を首班とする視察團が派遣され、我陸軍の近代的裝備改善に供する處多大であつたが更に今回の派遣によつて躍進途上にある我陸軍の戰術、兵器裝備、その他各方面に及ぼすべき貢獻は更に大なるものありとして多大の期待がかけられてゐる

【東京二十日同盟】陸軍省發表＝今般獨逸及び伊太利軍部の招待に應じ陸軍航空總監兼陸軍航空本部長陸軍中將山下奉文を首班とする一行を、獨伊兩國に派遣せられることになり、右一行は、今次歐洲大戰の經驗を現地に於て研究する筈にして近くシベリヤ經由、先づ獨逸に赴く豫定なり、尚山下中將不在の間は陸軍中將鈴木率道その職務の代行を命ぜらる

【東京二十日同盟】獨伊派遣團山下奉文中將の一行は來る二十二日東京を出發、視察期間は約三ヶ月の豫定である

國府特使 新京へ飛ぶ

【南京二十日同盟】國民政府の滿修兵特使、徐外交部長は副使鮑文樾軍政部長代理以下隨員十二名を帶同、十日午前九時十分、南京飛行場發新京に向つた

時の話題

盟邦獨伊兩國の招請により山下中將以下帝國陸軍のエキスパートが軍事視察と研究のため近く渡歐することゝなつた

我陸軍は大陸の曠野に聖戰三年餘、戰へば勝ち攻むれば必ず取るの赫々武勲を輝かしてゐる。然し乍ら今歐洲に行はれてる獨伊對英の戰爭は地理的にも氣候風土的にもその性格を大いに異にして戰術兵器にかても又異なる幾多のものがあらう。その粹を取り入れるのは無敵陸軍に愈々精鋭さを加へるものである。

近代戰が科學戰であり機械化戰であるのは事實であつて今次歐洲戰に於て獨軍のフランス攻略に至るまでの作戰が所謂電撃戰であり、敵の意表を衝いた神速攻撃は世界の驚異とする處であつた。この電撃戰を容易に進行せしめたものが科學機械化兵團の力であつたことは世界衆知の事實である。

彼のノモンハン、張鼓峯兩事件に於て敵機に對し勇武絶倫の皇軍將兵が不勘苦汁を味つたことも敵が優秀なる機械化兵團を動かして來たからであつた。

電撃戰を強く推進せしめた獨軍の科學化された新兵器其他を詳さに視察研究し、此を實地に取入れた後の帝國陸軍が世界冠絶の精強さを加へることは明らかである。

北阿、アルバニヤで 伊軍戰鬪を繼續

【羅馬十九日同盟】伊太利軍司令部發表

北アフリカ戰線リビア、エジプト國境バルピセンピッツに於ては、依然戰鬪が繼續されて居り、我が軍は英機械化部隊集團に對し有効

新駐獨大使に 大島中將再起用さる
二十日宮中で親任式御擧行

【東京廿日同盟】松岡外相は駐獨大使を更迭するに決意し、豫て銓衡中であつたが今回元駐獨大使大島浩中將を再起用するに決定、獨逸政府のアグレマンも到着したので、二十日宮中に親任式を執り行はせられた

新支那金融の本家 中央銀行南京に設立さる
初代總裁に周佛海氏就任

【南京十九日同盟】國民政府は南京に還都以來、財政、金融政策の中軸となる國立發券銀行の設立を國策に加へ、爾來中央銀行準備委員會を設け愼重協議中であつたが、この程一切の準備を完了したので愈々設立を決し、十九日其の旨、發表すると共に重要人事の任命を決定、茲に新中國建設ノ基礎は一段と強化さるるに至つた、新銀行名は中央儲備銀行、資本金一億元、總裁には周佛海財政部長副總裁には錢大塊が當り、二十一日第一回理事會を招集して正式に成立し、來春一月六日から、業務を開始する、其の內容は

一、資本金全額は總て國民政府國庫の支出とする
一、特權として本位幣並に補助幣の兌換券發行並に國庫事務の擔當を主要なるものとす
一、對外價値は現行法幣と等價に聯繫する
一、本行を南京に、分行を上海に、支行を蘇州、杭州に設ける

尚國民政府は中央儲備銀行成立に伴ひ、積極的財政經濟に乘り出す爲め、國經濟委員會を設置し、廣汎なる經濟建設並に重要經濟政策の具體化に邁進する事となつた

英獨兩機 互に敵地を猛爆

【伯林十九日同盟】獨軍司令部發表

一、十八日中の我空軍活動は惡天候に阻まれて日中、夜間共武裝偵察飛行に止つたが、英佛海峽北部に於て敵商船二隻に直撃彈を見舞ひ大損害を與へた
一、英機は十八日夜、獨本土西南地區に侵入爆彈を投下したが損害は輕微であつた

日米の國交調整 前途未だ遼遠の感
松岡演説、米國への反響見る

【ニューヨーク十九日同盟】松岡外相の日米協會演説に對する米國側の反響は、十九日附各紙には未だ具體的に現れてないが、極東に關心を有つ米人筋では日米兩國外交政策の基調に依然大きな間隔のある事を指摘し、松岡外相の演説を次の如く評してゐる

日本側の外人記者團との會見と云ひ今回の演説と云へ、日本が日米國交調整を希望してる事はよく了解される、同時に日本が飽迄三國同盟を固守し外交政策の基調を此に置かんとする事も松岡外相累次の説明で明かにされた、然し

してるので、松岡外相
三ヶ同盟の趣旨を
しめ　事は今後尚
けねばならぬので

事態の急惡化を防止する事こそ日
かる消極的意味にせよ日本が日
激化したる事は昨日の經過と共に米
正當に評價して然るべきであらう

樞軸外交に關
策に見るも明かな通り
も米政府はその對歐政

必死の防戰 砂上の樓閣

重慶の惡性インフレ 今や病膏肓に入る
亂發紙幣既に七、八十億元

【香港二十日同盟】中央準備銀行に依る國

と述べてゐる如く、財政的破綻は重大なる政治問題と化してる情狀である、即ち增税對策

と云つてゐる、斯くして惡性インフレはその極に達し、物價統制は通貨膨脹に拍車をかけるのみであるから、南京に於ける新中央銀行の健全發展は重慶側の財政的苦難を益々大ならしめるものと見られる

中央銀行設立に呼應 全國經濟委員會生る

【南京十九日同盟】國民政府は中央儲備銀行の成立に伴ひ積極的財政、經濟政策に乘り出す爲め、全國經濟委員會を設置するに決定、今後の廣汎なる經濟戰後の經濟建設並に新經濟建設後の對日經濟協力、重要財政、經濟政策の具體化に邁進する事となつたが、委員會今後の活動は頗る期待されてる

聯銀は依
中國聯銀

【北京十九日同盟】新中央銀行の成立に對し、華北朝野は

外國銀行への金銀 政府

インフレ抑制
〓準備制度改革か

發行、または保證の手形其他確實なる證券

價指數、貿易統計、金融狀況などを斟酌して行ふ

込み金額の三倍より五倍に擴張する事を企圖し、目下商工省と大藏省との間に於いて豫算關係の折衝を行つてゐるが

これが決定を見れば來議會に商工省所管の追加豫算と共に帝國燃料興業株式會社法中改正法律案を提出する筈である

フィンランド 大統領逝去

獨の對和蘭通商 關税撤廢は一部に限定
他の諸國とも交易開始の段取

【伯林十九日同盟】獨政府は去る十六日よりオランダとの關税を撤廢し、ドイツ、オランダ兩國の商品關税を自由にした旨、非公式に發表したが外務省當局は十九日右獨逸・オランダ關税撤廢の細目に就き補足的説明を加へ、これはオランダからドイツに輸入さるる商品に限るもので無く、無税品は農産物其の他一部商品に限られる事となつて居る、又オランダからドイツへ再輸出される海外物資に就ては關税は撤廢されない旨明らかにした、一方ドイツは更に他の主要貿易相手國との間にも新時態に即應して、經濟協定更新の爲め交渉を重ねて居り、特にバルカン諸國との間にはマルク換算率をドイツに有利に決定する爲め、折衝を續けてるが、外務當局は「ソ聯との間にも輸入割當料の增大を目標に交渉が進められてる」と言明した

政府と大政翼賛會 表裏一體關係の規定
基準法制定止め內閣官房で管掌

【東京十九日同盟】政府と大政翼賛會との表裏一體關係を規定すべき基準法制定については翼賛運動發足以來各方面で種々論議され、今次臨時中央協力會議に於ても審議の題目となつたが、政府としては翼賛會中央本部と一體その見解を同じふし却つて翼賛會の實践運動を制扼して、その自由な發展を妨げる虞ありとしてるので、政府としては基準法を制定せず、大體現行の內閣所屬部局及び職員官制を改正して、大政翼賛運動並に大政翼賛會に關する事項を內閣官房の管掌事項として追加挿入することゝならう、斯くて右官制の改正により

一、翼賛會は內閣に於てこれを管掌すること
一、從つて同會の經費は、大藏省所管豫算中に盛り込まれて國庫補助となる譯である

あばれ大名 (映畫化)
久我莊多郎 作
倉 畫

(二百八十二)
(さくら船)
盛衰一路 (五ノ四)

「退け、退け。こゝは、おれが引受けた」
と、大三郎に立向つてゐる尾形や志水たちを制して、
「大三郎、一騎打ちだッ」
「——おゝ、望むところ」
かすれてはゐるが、落着いた聲で應酬した大三郎は、莞爾とほゝえみさへして、しづかに、大刀を青眼に構へた。
——その寸分から、この斬鬪を遠巻きにするやうに、おびたゞしい數の黒い人影が、渚邊一帶にチラホラとあらはれた。
ひとり斬られた！あッ、また一人
まるで、濡れ手拭をはたくやうな、パサリ、パサリ——といふ音といつしよに、二人……

「逃げよう、今の間に。先生あの小舟に乘つて、沖の明星丸へ逃げて行きませう」
「——今となつては、最早無駄でせう」
と、答へた一學の言葉が、あまりにも冷やかだつたから
「えッ！」
と德兵衞、大人氣もなく怯を突つ抜かせた。
「セ、先生。お前さんは……」
「こゝまで來たら、もう觀念あがきは止さうぢやありませんか。いや、どこへ逃げてみても、大三郎は、必ず追つて來ますぞ」
「シ、しかし——あッ、平馬までが仆された。先生、このまゝでゐては、わしはもう……」
「——旦那！」
身をねぢて、一學は、ふるへてゐる德兵衞の手を强く搾り返した。

和平の聲に怯えつ勢力爭ひにのみ沒頭
重慶今や末期的現象呈す

〔香港廿日同盟〕國民政府の日滿兩國に依る正式承認の結果、その國際的基礎愈々鞏固を加へ、青年層間に於ける和平運動漸次全面化の傾向に焦慮した重慶政權は、民衆を抗戰陣營に驅り立て、和平運動を消し止めんと躍起となつてゐるが、四ケ年の敗戰に倦み疲れた首腦者等は、今尚眼前の私利私慾を漁るに汲々として政權爭奪、內訌を事としてゐる有樣である、卽ち次期政權を狙ふ親米親ソ元老派間の抗爭は益々激烈を極め、最近許崇智の入京に勢を得た許世英、張繼等舊西山會議派は孫科一派の聯共派と正面衝突を演じて、國民黨に對する中共の拘束、制壓を排除しない限り和戰共に論ずるに足らずと極論、之に對して孫科派及び中央側は退歩派元老打倒のスローガンを掲げ、その政界進出を阻止すべく躍起となつてゐる、更にその間石友三の謀殺事件にからむ舊西北軍の動搖、馬緣署監禁事件中央の陳立夫彈劾事件等が發生し、又財政、經濟の兩部門を續つては、孔祥熙、宋子文、吳在章張國賢の四派間に抗爭を續け今や重慶政權の內部各派の複雜深刻なる抗爭は重慶政權の命脈既に盡きたりの感を深めつゝあり、こゝ兩三ケ月間の動向は國際情勢の變化と睨み合せ、最も注目に値する

海の荒鷲 湖南省へ

〔〇〇廿日同盟〕中支艦隊報道部發表
海軍航空部隊は十九日午前十時半、湖南省株萍鐵道分岐點株州を爆擊、軍需品の集積せる倉庫群に對して大なる損害を與へ、全機無事歸還せり、我に損害なし

〔〇〇基地十九日同盟〕海軍航空隊は十九日午前湖南省の要地株洲を爆擊、軍需品の集積せる倉庫群に對し多大の損害を與へた

新體制の論議 身を以てその範を體驗
白熱裡 中央協力會議終る

〔東京十九日同盟〕大政翼贊會臨時中央協力會議は、組織、市制、經濟、文化各般に亘る三日間の白熱的論議を了へて十八日夕刻終幕した、會議の經過は時間の不足と、會議員側の不馴れもあつて、特に地方議員の發言が少く、下情の上通を盡し得ない憾みはあつたが、全議員が三日間を通じて大體洩れなく出席し、議長統裁の新形式で論議を盡し、今後全國に開かるべき新體制會議の範を身を以て體驗した事は收獲と謂ふべきである

外務辭令

〔東京廿日同盟〕外務辭令廿日
總領事（廣東）喜多長雄
ホノル、在勤を命ず
大使館二等書記官（北京）寺崎英成
米國在勤を命ず

おみやげは 東亞再建の抱負
中國宣傳部隊歸國

〔東京廿日同盟〕國民政府宣傳講習所視察團は、滯京八日間に各方面の見學視察を遂げ、廿日午前八時廿三分東京驛發西下した、途中關西方面を視察、朝鮮經由で來る卅一日奉天着の上、新京に向ふが一行は離京に際し交々

日本朝野の東亞新秩序建設に對する希望と主旨がよく諒解された、そして我々は遲疑する處なく、日本と手を結んで、その理想に邁進すべきだとの氣持ちを固めた

と語つた

海鷲 昆明襲ふ

〔佛印〇〇十九日同盟〕南支艦隊報道部發表
海軍航空部隊は本十八日左の攻擊を實施せり、菅原指揮の率ひる吉本、金田の各部隊は、昆明附近の大倉庫群を爆擊、大なる損害を與へ、全機無事歸還せり

僕は斷然「日本で」
米國生れ第二世の敎育續つて 兩親の爭ひ、少年の意思に凱歌

〔東京發〕米國生れの第二世に米國式敎育を受けさせようといふ父親と、日本式敎育を受けさせようといふ母親との爭ひが本格的爭に展開してつひに夫婦離別となりその子供の引渡しをめぐつて裁判沙汰になり、東京民事地方裁判所了野裁判長係で審議してゐたが、今回滿十六歳の少年の意思が尊重されて父親敗訴の判決があつた、父親は最近米國から歸つた東京豐島區池袋二、田野綾夫氏、母親は氏の先妻、靜岡縣三島町片井ふみさん（いづれも假名）で

二人は大正十二年二月結婚してその年渡米、サンフランシスコに落ついた、翌年二人の間に長男光雄君が生れ、同君が成長するにつれ敎育問題で夫婦はしばしば論爭、父親は米國で米國式紳士に仕上げようとし、母親は日本へ歸つて日本精神を體得させたいと爭つた末昭和十二年七月、母親は光雄君を連れて歸國、實兄の許から縣立工業學校に入學させた、父親が憤つて父の許へ歸れと催促したが、光雄君は「米國で敎育をうけたら日本人にも米國人にもなり切れぬので、不徹底な人間となる」とて父のいふことを聞かぬので、父親は光雄君の裏には母親が糸をひいてゐる、つまり、妻が親權を妨害してゐるのだとふみさんを相手に訴へ出たがつひに父親の請求は棄却された、その理由は左の通り

果して親權を妨害したりや否やを案ずるに、滿十六歳余となればすでに十分なる意思能力を有し、父の要求にも拘らず日本において高等敎育を受けんことを切望原告の許に歸らざるは專ら自律的意思に基くもので、被告は何等原告の親權を妨害したりとは認め難し

業者注目の的は 政府の糸價政策如何
蠶糸統制會社設立後に來るもの

〔東京十九日同盟〕農林省では蠶糸業の安定を計る爲め、日本蠶糸統制會社を（假稱）設立して蠶種繭生糸の一元的統制を行ひ、國內用生糸、輸出生糸の計畫生産を行ふ事になつたが、輸出生糸に對しては從來の如く製糸家と輸出業者との自由取引にする事になつてる、然してこの場合政府の糸價政策如何は業者の注目する處であるが、政府は現在の國策相場一千三百九十円を飽迄維持し市價を安定せしめる方針である

高野山管長 加藤諦見氏

〔大阪十八日同盟〕古義眞言宗總本山高野山管長加藤諦見氏は、腎臟病腎炎の爲め先月初旬以來大阪日野病院に入院加療中であつたが、十七日夜大寂、年七十七、同氏は高野龍光寺住職より三九一代目の管長に就任以來名僧の譽高かつた

東京灣要塞司令官 鹽田定一中將

〔橫須賀廿日發〕東京灣要塞司令官鹽田定一中將は、豫て橫須賀陸軍病院に入院加療中であつたが、廿日午前十時十五分遂に逝去した、享年五十五、中將は福岡縣出身陸士は第廿一期で、昭和十四年中將に進級、この程支那大陸に在る事前後十三年、大陸通として知られる、事變勃發直後北滿の守備より南支戰線に轉じこの夏歸還、要塞司令官に補せられた

在外國居留民救護費等 第二豫備金支出決る

〔東京廿日同盟〕本日の閣議に於て、左の如く第二豫備金支出が決定した（外務省所管）
對支特派大使事務所、その他諸費　八萬八千円
在外國居留民救護、其他諸費　五十萬円
臨時外交刷新費、七十萬円

上海爲替

〔上海十九日同盟〕爲替引け對英三ペンス六十四の四十一、對米五ドル四の三軍票六十円八の三賣り、六十円八の五買ひ

世を擧げて宣傳の秋
廣告なら時報社へ

よくきく、のみよい
肝油 ハリバ

もんてびでお丸渡來 呼寄及再渡航者氏名
廣告

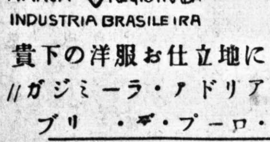
〔呼寄〕北海道石川寅三郎外八名、同笠井匡、同鐵山いき外一名、山形縣鈴木淳一、同井上大四郎 宮城縣我妻いさを、東京市澤田かね、靜岡縣山田せき、同太田和一外四名同植松孫七、愛知縣岡村一義外一名、同伊藤三千雄、新潟縣行方タカ 長野縣佐々木克枳砂山縣上田アヤ子、大阪市筒水トミ、高知縣武島雪美、大分縣松本孟直、熊本縣入藏成、沖繩縣泉川寛秀外一名同金城節枝、同宮城ウト、同宮城ナベ、同小橋川德春、同新城カメ、同上間キク、同嘉外一名、同金城タケ、同比嘉カマダ外二名、同金城ウト、同比嘉榮、同比嘉トヨ、同稻福サダ、同比嘉春、同比嘉ハル外一名、同金城カマト、同潮平アキ子、大城カメ子、同川上ヨネ、同新里トシ、同親泊カマ外二名 同上原政吉、同宮城カマド、同城間孝榮、同我如古隆 〔再渡航者〕北海道笠井宮五郎、同高田良藏外四名、新潟縣山賀德二外一名長野縣淸水明雄外一名、奈良縣廣功薫、大阪市眞納宗彦外一名、同梅田治親外一名 同四ケ迫榮秀外八名、神戶市竹下猶郎、岡山縣藤原八重子、同島縣松本佳子、同市山勝人、山口縣藤井セキ外一名、愛媛縣長岡政一、同平岡六郎、大分縣羽瀬太一、福岡縣金丸富太郎、佐賀縣津野夫外一名、長崎縣小畑與五郎外一名、同熊田益雄外一名、熊本縣上村政喜外一名、同松岡實外四名同岩下久四郎外四名、同松村次郎外一名、同岡澤トメコ同中村末熊、沖繩縣大城幸榮外一名、同又吉忠治外一名、同高江洲鍋助、同高良龜外一名、同上原勇清外一名、以上本船は來る一九四一年一月八日サントス着豫定に有之候間關係者はサントス迄御出迎有之度候也

昭和十五年十二月
海外興業株式會社
伯國支店

YOSHIO & CIA.

お正月が近付いて參りました
レコード及蓄音器が澤山到着致しました
皆樣の御出を御待ち致して居ります

プレシデンテ プルデンテ市
私函 一八七
吉雄商會 蓄音器部


ADRIATICA
MARCA REGISTRADA
INDUSTRIA BRASILEIRA

CASIMIRAS ADRIATICA
Rua José Bonifacio, 79
唯一無二內國製ガジミーラ
優秀外國製品に同じ
貴下の洋服お仕立地には常に品質を保證する
〃ガジミーラ・アドリアチカ〃印を御撰擇あれ
ブリ・デ・プーロ・リンニコ＝トロナ
ラ・デ ルカピ

苦學生募集
市內配達に從事する者 壹名
御希望の方は午前七時までに本社工場へ御來談下さい
時報社發送部

寶石貴金屬類
弊店モダーン貴金屬商店にはダイヤモンドを鏤めた斬新な飾物を豐富に取り揃へて居ります
御贈答用に御氣に召す品を澤山に取り揃へ御來店の程を御待ち申して居ります
世界的に有名なオメーガ、オメーガ チソット腕時計 手販賣店
OMEGA · OMEGA-TISSOT
CASA BENTO LOEB
Rua 15 de Novembro No 331 - São Paulo
三代にわたつて一流社會の人々から御引立に預つてゐる貴金屬店です

CASA HAMAOKA
Rua Carlos Garcia, 103
C. Postal, 993. Tel. 2-7581
S. Paulo

新着荷
棉虫撲滅には米國製
アルセニアット・デ・シユンボ（亞砒酸）
御用意を！
獨逸品 ベルデパリス
玉葱 カナリヤ種
その他肥料、種子、藥品等總て御照會は
私函九九三へ

R. Monteiro & Cia
CASA MATRIZ E ESCRITORIO
Rua 25 de Marco, 533
Caixa Postal, 1646 - Telephone, 2-4388 - São Paulo

Casas Filiais:
Rua José Bonifacio, 43
Esq. Bocayuva
Telephone 2-5510
Rua 15 de Novembro, 12-18
Telephone 2-1781
Av. Rangel Pestana, 1475
Telephone 2-9837

IMPERIAL CASIMIRA
MARCA REGISTRADA

Casa Filiais:
Rua Boa Vista, 199
Telephone 2-3688
Santos
Rua Gen. Camara, 79
Telephone 5657
Rio de Janeiro
Rua Uruguayana, 106
Telephone 23-5067

◆弊店は伯國最大の反物店で內外優秀のカジミーラを豐富に仕入れて居ります
◆尙歐洲よりブリン、麻、パームビーチ、トロピカル等本年夏向きとして種々多量に仕入れました
◆ヨーロッパ及びニコラウ・ブルーズ地一米十八ミル以上
◆弊店は國產優秀カジミーライムペリアルの總代理店
◆地方より御出聖の折は是非御來店の程を
◆尙地方へは見本をお送り致します

お正月御馳走用具

◆重箱（七寸重）
松竹梅蒔繪入
特品 六五針
並品 四五針
▲シヤモジ
一本一 五〇〇
スリ古木
二、五〇〇

◆すし型
大型 六針
小型 五針
◆すし卷
スダレ
一枚二、五〇〇
時報商事部

ぐんぐん延びる日伯貿易
逐年增加の一途
最近四ヶ年間の統計は示す

日伯兩國間の親善關係が益々親密となりつゝある折柄、外務省の三浦書記官は兩國經濟關係について次の如く述べた 日本とブラジルとの通商貿易は古い歷史を持つてゐるが然し一九三六年ブラジル經濟視察團が日本を訪問してから兩國間の貿易は頓に活潑となり、その後日本からも經濟使節團がブラジルを訪れ益々緊密の度を加へるに至つた、即ち一九三六年度に於て日本はブラジルから四千七百三十五万円餘の物資を輸入してゐたのが昨年の一九三九年度には七千四百六十六万円と一躍二倍に增加し、南米諸國から輸入する總額の約七割をブラジルから輸入してゐる、又日本からブラジルへの輸出額も一九三六年には八百八十四万円餘りだつたのが昨年の一九三九年度には千五百六十一万円に上りこれも約二倍の增加となつてゐる、右の内日本の主なる輸入品は綿花、獸皮、ゴム類で、ブラジルへの輸出品は機械類、金物類、工業製品及び化學製品である、左に最近四ヶ年間の輸出入額を示す（單位千円）

【寫眞は語る三浦氏】

輸出額	
一九三六年	八、八四〇
三七年	一七、三八五
三八年	一九、三八八
三九年	一五、六〇九
輸入額	
一九三六年	四七、三五二
三七年	六三、八一〇
三八年	四六、一七二
三九年	七六、六六二

邦人同志の殺人事件
金錢の事から口論の末
ピンガ瓶で腦天を一撃！
被害者は昏睡狀態のまゝ三日後死亡

去る八日夜、金錢貸借問題から口論の末、チエテ移住地に起つた邦人同志の殺人（傷害致死）事件…加害者は同移住地バラポニータ區在住山梨縣人鈴木某（假名四七才）被害者は同區同縣人新谷某（假名四一才）で兩人は同縣人であり近所である關係から日頃仲よく交際してゐたが二年前新谷が逼迫した事情のため、鈴木にとつても必要な金であつたがすぐ返へす約束で無理に幾らかの金を借りた、所が二年經つた今日でも一向に返へさうとしないから鈴木は今年は事業も擴張するから是非返濟して呉れる樣再三請求したが暖簾に腕押しで効目がない、こんな事情から兩人の感情は一日々々惡化し遂に去る八日夜新谷は强かピンガに醉ひ鈴木の家を訪れ、兩人メーザに向ひ合つて口論となり最後に新谷は「ゴチヤゴチヤ言ふな、ブラジルでは二年經てば借金は返へさなくてもいゝんだぞ、今更返へす必要があるもんか」と啖呵を切るや鈴木は「ナニッ」と叫んで前にあつたまだ一杯ピンガの入つた瓶で力任せに新谷の腦天を一撃した、新谷はそのまゝ戶口までよろめいて行きバツタリ倒れ昏睡狀態に陷つたまゝ手當の甲斐もなく十一日午前二時第一市街地病院で息を引きとつた、一方加害者鈴木は十日警察署に呼び出され一應の取調べを受け他出を嚴禁して一時歸宅を許されたが引續き事件を詳細取調中である

記帖

南大河州本年度の小麥收穫豫想は約二千万俵である

◈ 聖州ルジタニヤ市附近は、去る十八日午後六時頃より約一時間豪雨に見舞はれ、同地方棉作は非常な損害を受け、果物その他の農作物の被害も甚大なりと

◈ 今日午後八時より常盤ホテルに於て龍土會例會を催すが、同夜は海興支店長宮腰氏の「日本と日本歌について」と題する講演があるから一般の聽講を歡迎してゐる

◈ 總領事館勸業部北村政吉氏はモヂアナ線農事講習會に出張中、十七日午前中身左側にフエリーダ發生、講習半ばに急遽歸聖して療養中だが、病名不明で全快までに相當の日數がかゝる見込

◈ 聖市「ホガラカ會」の例會は正月五日午後五時から萬平食堂に於て開催される

萬平食堂の使用は最近頓に激增して來たが、忘年會、新年會の申込が殺到するので、今度壁を打拔いて九十人は裕に這入れる大廣間をこしらへて——萬事準備O・K、さあどしどしお出で下さい——と

◈ サクサクと砂利の小路を踏んで、祈る青柳のお稻荷さんは工藝所や青柳の日本庭數を拵へた大工さん——コンデ街の小村棟梁が寄附したもので四コント余りかゝつたといふ、鳥居はトウロー二つの中、左側は澤井天城の寄附だと

◈ 聖市中央警察署副署長ドツトル・アルフレッド・イサ氏は日本人運轉手が欲しいと盛んに物色中だが、腕に覺えのある運轉手君は早速名乘つて出たがいゝ——海興の坂元歡台が世話して呉れると

◈ 印刷術が創始されて本年で五百年に相當するので、聖市では昨二十日印刷デーを催し、午後四時からオデオン館の舞臺の間で第一回內國書籍及び印刷術展覽會の開會式を擧行、アデマール・デ・バーロス執政官その他の關係者多數參列の下に盛大に行はれた

佛國に五ツ兒誕生
敗戰の原因は出產低下と悲感の政府に一光明

フランスの今度の敗戰も根本の原因は人口減少にあつたと國民の出產率低下を苦にしてゐる政府にとつて近來の快ニユースがあつた、北佛のパ・ド・カレー炭坑町バルランのエミール・デユビユイといふ坑夫の妻が去る廿八日四男一女の五ツ兒を生んだといふので、有名なカナダの五ツ兒の向ふを張るものとして大評判になつたが、惜いかなたつた一人の女子が生れ落ちるとほどなく死亡した、め健全なのは四ツ兒といふことになつてしまつた

しかしカナダの五ツ兒の母親も元を質せばフランス女だといふので、いまさらフランス女の生產力に自信を回復した政府當局は今後一層出產獎勵に努力することになつた

野菜賣りして勉學
隣近所の評判娘

ソロカバナ線サン・アナスタシオ驛小松清人氏長女テル子さん（十三才）は未だ遊び盛りの年頃だが、どんな雨や風の日でも一日も缺さず父が作る野菜を自分で町へ賣りに出て、生活戰の第一線に乙女ながら健氣な奮鬪をし續けて居る、歸つては家事万端の手傳ひをするなど近所近邊の評判娘である、僅少な利益の中から學資に當て勉學してゐるが、同町私立商業學校商科二年に此程優秀な成績で進級したが、同女の感心な行ひと熱心な勉强振りは實に好模範であると、內外人間の話題に上つてゐる

北米で發明
簡易防毒マスク
仕事も自由に出來る

アメリカ光學會社のダブル・レーンバーグ技師は輕便な防毒面を發明した、重量約四十二グラム一ミクロン（一メートル百万分ノ一）くらゐの微粒子の透過も許さない、鼻と口を掩ひゴミヨケメガネと鍍鋼した簡易なもので自動的壓式の鉢卷樣の頭巾がついてゐて、俯むいても仰むいても仕事には少しも差支へなく働ける、これはいまは主として鑛山に働く人々や、殊に枯草病の流行地の農場で使ひ効果を上げてるといはれる、この防毒面は口と鼻が完全に保護されてゐてゴミヨケ眼鏡と頭巾とを組合せたやうなものである

尾關氏結婚
新婚旅行は飛行機で

プラスコット（日伯棉花）社員尾關興之助氏は、宇佐川氏夫妻の媒酌により、聖州新報社々長香山六郎氏令孃露子さんと婚約整ひ、本日午後一時よりイグレージヤ・カルモで結婚式を擧げ、同三時聖市空港發の飛行機でリオへ新婚旅行にたつ

裁縫女學校
卒業式二ツ

聖市日伯裁縫女學校本年度最終卒業式及び賞狀授與式は、今日午前九時より同校內に於て行はれる、同校本年度卒業生は洋裁專修部八十一名、女學部二名、小學部三名で、本年度總數八十六名である、尙同校では卒業式當日から廿四日までの四日間作品バザーを催す、家族一同誘ひ合せて御來臨下さいと

◇　◇

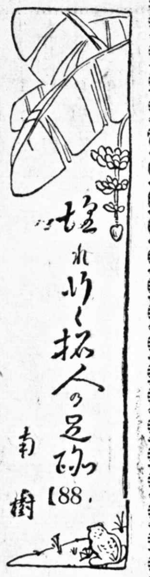
聖市サンパウロ女學院本年度最終卒業式は明廿二日（日曜）午後二時から同女學院內に於いて行はれるが、卒業生數は洋裁專修部本年度最終廿七名、女學部第五回十名、葡語部四回五名、以上の如くであるが、語部の卒業は年一回であるが、洋裁專修部は年に十二名、七月に十一名、八月に一名、十月に十四名の各々卒業生を出してゐるから本年度卒業生總數は八十九名である

迷惑な話
どつちが本物？
肺療養所寄附勸誘員

先頃聖市郊外カーザ・ベルデ方面在住の邦人を戶毎に訪問し、同仁會のカンポス療養所から來たと云つて寄附を募つて步いてゐるがそれについて某氏は語る「先輩諸君が寄附をしてゐるものだから私も寄附をしたのですが、暫く經つと又同仁會肺療養所の寄附金勸誘員と稱する男が來たので、この間寄附したばかりだとツツパネた所、それは僞者ですよとの答へ、どつちがどつちだか判らなくなつたこんな事にはしつかりした證明書でも持たせて呉れないと實に迷惑する云々」

結婚

ビリグヰ驛ビリグヰ町マキナ・ニツポランジヤの書記坂元睦夫君は、ビリグヰ市東山主任西川氏令孃アキ子さんと婚約中の處、去る七日芽出度く結婚式を擧げた＝バラペンス



一代の怪雄山縣
（二十七）

坂元 靖は田中秀穗、江崎省三と三人で大正三年山縣を賴つて來たことは本稿の「十四」に一寸書いてゐる。田中と江崎とは山縣の遠緣に當ると云ふ樣な話を聞いた。江崎は滯伯數ケ年にして日本に歸つたが、田中は方々勤め拔いた上句、現在はブラ拓商事部長に納まつて居る。

坂元は軍人志望で、士官學校を卒業し、中尉迄進級しながら、どう云ふ譯でブラジルに來たか、一度聞いた樣な覺えもあるが、健忘性ですつかり忘れてしまつた。何處から見ても軍人タイプで薩摩閥と云ふ陸軍では得難い閥に屬しながら、惜いことをしたものである。坂元の態度に何處かぎごちない所があり「氣を付け」の姿勢の取れないのは軍人生活の名殘である

坂元 はーあゝ云ふ一本な性であるから、如何にしても山縣の子分になつて、一生を開拓仕樣と山縣との初會見から、學校の試驗でも受ける樣な眞劍な態度でぶつかつて行つたが、一ケ月ばかりすると、「お前は物になりさうだ。少しブラジルと云ふものを體驗して來い。」と云はれて、彼は所謂ブラジルの社界見學に投げ出されたのである。坂元はレオポルド鐵道會社附屬の農園や、商店に働いた後、リオ市で行商も遣つた。[illegible]

つたのは、今日迄不思議に堪えない妙な一事からである。

ブラ ジル移民も、漸く決定を得て、事務的になつて來ると、上塚周平の樣な人物の必要がなくなつて來た。大正二年會社から歸國命令が來た折、丁度私がアマゾナスから戾つた所であつた。上塚は私のアマゾナス[illegible]

ご歸朝運動することに相談一決したが（この事は後の機會にもう少しくわしく書く）或余儀ない事情のため、上塚一人歸ることゝなり、私はマナオス政府と交涉した條件や、プランの內容を上塚に持たせて遣つた。所がどう云ふ間違ひか知らないが、私の交涉した條件を中心としたアマゾナスの記事が當時博文館發行の「太平洋」と云ふ雜誌に、そつくり其まゝ坂元靖と云ふ名で登載されたのである。私は吃驚して、一體此坂元靖と云ふ男は何者であらう。けしからん奴だ位ゐに憤慨した。しかしこれは恐らく上塚の遣つたことで、坂元に何の罪ある譯がない。のんき坊の私のことであるから、それが其まゝになつた。上塚が日本から戾つて來ても、尋ねもせず、坂元に逢つても口にしたことがなく、今日に至つてゐる。それでもこんな記事を書き出して來ると、矢張り頭に浮んで來るからおかしい。かう云ふ譯で、坂元靖は私に取つて見たこともない內から妙な人間として存在してゐた譯である。」

坂元 が海興に這入つたのは、狩谷三市が代理人時代であるから、大正七年頃（一九一八年）であつたらう。漸く坂元の存在を認められる樣になつたのはリベロン・ペレートに、明穗梅吉の後を襲ふて海興の[illegible]主任となつた頃からである。移民は皆金の實る木を夢見て來る。水彩畫にかいた樣な自然と生活とを期待して來る。所が珈琲園の實狀は、總てが之と余りに反對過ぎる。そこにトラブルのかもされることは必然の勢である。世の中に移民の取扱ひ程むづかしく、割の合はない仕事はない。

明穗 は頭ごなしに「オイ貴樣」と呼び捨てにし「此の明穗梅吉を知らないか」と云ふ調子で高飛車に出て移民を[illegible]しようとする。これは明穗の[illegible]と云ふよりは寧ろ、惡癖である。坂元は頭がある丈、さうした露骨なことは仕ないが、それでも「お前達は何と云ふ意氣地なしだ。オイ此の俺を見ろ」と云つて、一握りの土をつかんで口に入れて見せたと云ふことである。多分移民の食糧問題の起つた時であつたらう。如何にも坂元の遣り兼ねまじきことである。（寫眞は坂元靖氏）

パ延長線地方
增收の豫想

パウリスタ延長線マリリア、ベラクルス驛方面は雨順が良く、棉等の作物は順調に成長してゐる、この分で行くと今年度の收穫は二割三割の增收であらうとの豫想であるが、正月を控へ未だ前貸しが出ず火の消えたやうな年末狀態を呈してゐる

美術石版印刷
盬谷實
聖市タバチンゲーラ街一二六番
郵函二五七〇
電話三—三九八〇

CASA RAPOSA
R. Benj. Constant, 43
São Paulo
硝子板
壁紙　額縁
カーザラポーザ
聖市ベンヂヤミン・コンスタント街四三
電話二・二七八九
函郵三三一

急募　職人・見習　數名
アベニーダ・セルソ・ガルシア一六一七
チンツラリーヤ・フレツシヤ
デ・オーロ　電話三—三六一八

セントロの大ペンソン
（三十室あり）
讓りたし、照會は左記へ
R. Senador Feijó, 106

パール及コンフエタリアを左記に開店致しましたから御引立願ひ上げます
アベニーダ・サンジョン一一番（サンベント街角）
電話二・七五一〇
パール・コンフエタリア
サンベント

Rua Maria Domitilia 211
Braz, São Paulo
讓店　廿五コント内外
エンポーリヨ
ソルベタリーア
最上のポント、職人術
カーザ
ジャポネーザ

急募
職人　二、三
見習　二、三名
クストレーラ
チンツラリーア
フロレス
ルア・プログレツソ二六十
電話　三一六五

味と香りの茶ツピー

時報原稿用紙
十五字詰二十行、紙質上等、額裁優美、嚴選の書き好い原稿用紙です
百マイ　二ミル　送料共
切手代用可

新學期生徒募集
普通科　六ケ月
速成科　三ケ月
研究科　一ケ年
料理科　每週土曜
造料科　每週一回
公認　双葉洋裁割烹學院
聖市ピネイロス、バルトロメウ・ヅネカ街一一三
△新學期授業……一月五日から
△寄宿舍の設備有り
△入學隨時受付

Chacara Nipponsó
Caixa Postal, 15
Est. Santo André
S. P. R.
皇紀二千六百年
創業十周年紀念
盆栽　一　特價品發賣

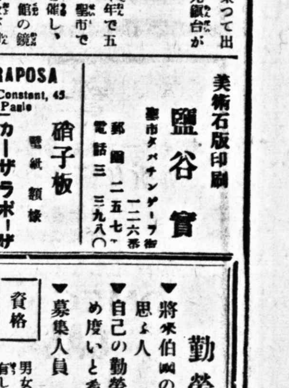
サントス線サントアンドレ驛グアツスー
日本莊

トマテ
コーベフロール
步合作
家族者數家族
聖市靑物市場
バラツカ四九
元家

外科手術一般、婦人科、產科
小兒科、內科一般
肝臟、胃腸、盲腸、脫腸、
攝護腺、膀胱、腎臟、瘰癧
水腫、子宮、卵巢、喇叭管
開腹手術、痔、靜脈瘤の無手術治療
ドツトル・エ・サンタ
ーナ・デ・アルメイダ
リンス市リオ・ブランコ街五五六　電話六七
日本人看護人周り親切にお世話致します

勤勞生募集
▼將來伯國の新方面に進出して見やうと思ふ人
▼自己の勤勞により中學程度の教養を修め度いと希ふ人
▼募集人員　男子部—拾名　女子部—五名
資格　男女兩部共に尋四修了程度以上の學力を有し、滿拾五歲以上の者
本勤勞部は滿四ケ年の歷史を重ね、現在二十餘名の勤勞生達は中學五名、商業校八名、工業校二名、葡語初等科一名、裁縫校六名で、皆目的に向つて進みつゝあります。
▲御希望の方は左記宛御問合せ下さい
曉星學園勤勞部
K. Kishimoto
Caixa Postal, 3215 - São Paulo

大阪商船發着廣告
日本へ
パナマ經由　西阿丸　サントス發一月十五日　横濱着三月五日
アフリカ經由　あふりか丸　サントス發一月廿八日　神戸着三月八日
パナマ經由　もんてびでお丸　サントス發一月十七日　横濱着三月五日
パナマ經由　南阿丸　サントス發一月廿四日　横濱着四月十四日
日本より
パナマ經由　西阿丸　神戸發十二月二十日　サントス着一月廿四日
アフリカ經由　あふりか丸　神戸發十一月廿九日　サントス着一月七日
パナマ經由　もんてびでお丸　横濱發十一月廿四日　サントス着一月八日
パナマ經由　南阿丸　神戸發十二月廿一日　サントス着二月六日
西阿丸及南阿丸は一等船客のみ御引受可申候
詳細は弊社左記代理店へ
サントス　伯剌西爾大阪商船株式會社
(Soc. de Navegação Osaka do Brasil Ltda)
Rua Cidade de Toledo, 31 Santos
聖市　伯剌西爾大阪商船會社出張所
(Soc. de Navegação Osaka do Brasil Ltda)
Rua da Quitanda 82 - São Paulo
リオ　WILSON, SONS & CO. LTD.
Avenida Rio Branco 37　Rio de Janeiro
大阪商船株式會社


夏向洋服
特別大奉仕
麻地亞熱帶向用地洋服各種品質も色合も仕立も御氣に召す事百パーセント。御贈答用品は弊店で、帽子、ネクタイ、シヤツ、靴下、ミシン靴等々。御値段は大勉强
御月賦部がありますから御利用下さい、其際は日本人店員が親切丁寧に御世話致します
レンネル商會
日本人部
Filial
RENNER
RUA S. BENTO, 51
AV. RANGEL PESTANA, 1563
SANTOS: R. GENERAL CAMARA, 15

Redação - Rua Fagundes, 190
Telephone 7-4670
Caixa Postal, H
Director M. Samesima

NOTICIAS DO BRASIL

Proprietario SEISAKU KUROISHI

Assignatura Anno.... 60$000
" Semestre.... 30$000
Numero do dia .... 300 reis
Gerente S. Kuroishi
Redator-chefe M. Yendo

ANNO XXIII — S. PAULO — SABBADO 21 de DEZEMBRO de 1940 — DIARIO No2364

O tratado cultural Nippo-Brasileiro

Referindo-se ao recente Tratado Cultural Nippo-Brasileiro, o porta voz do Ministerio do Exterior, sr. Jakichiro Suma, teve occasião de declarar que o Japão e o Brasil desde ha muito tempo mantem uma amizade cordial e mutua nas actividades do commercio e da immigração e houve um accentuado augmento (o qual foi notado) de interesse na cultura de ambos os paizes, o que podemos deduzir pelo crescente intercambio de estudantes, jornalistas, artistas e outras personalidades. Continuando, disse: «Com o intuito de accelerar essa tendencia e aprofundar mais este entendimento muito entre os dois paizes o tratado entre o Brasil e o Japão foi concluido no Rio de Janeiro, a 23 de setembro.

A assignatura deste tratado resulta acontecimento na historia da amizade entre o Brasil e o Japão. E' de facto um principio de profunda satisfação que este tratado servirá para fortalecer, mais ainda, a ligação espiritual que une hoje o Japão ao Brasil, a grande Republica da America do Sul, bem como para promover as suas relações de amizade. Este tratado deverá ser posto em vigor depois da troca de notificações. O seu texto é semelhante ao do Accôrdo Cultural Italo-Japonez o qual foi concluido em março do anno passado.

O sr. Iiro Miura alto funcionario do «American and Este Asiatic Bureau» do Ministerio do Exterior e autoridade em negocios com o Brasil fez os seguintes commentarios, referindo-se ao novo Tratado Cultural.

«O Japão e o Brasil gozam das melhores relações de amizade, ha mais de 40 annos. As relações diplomaticas entre estes paizes começou em 1895 quando o Tratado Commercial Nippo Brasileiro foi assignado pelos respectivos embaixadores, em Paris.

Actualmente, 200.000 japonezes vivem no Brasil, dos quaes 190.000 dedicam-se aos trabalhos agricolas. A idéa do papel que os mesmos desempenham para o desenvolvimento do paiz no qual elles vivem, resulta no facto de que elles dão ao Brasil, annualmente 150.000.000 de yens de producção.

Deste grandioso paiz já sahiu um numero de famosos homens de letras, artistas e scientistas.

«O Tratado Cultural que acaba de ser concluido entre o Brasil e o Japão, nos dá grandes esperanças de que havera tanta afinidade espiritual entre os dois povos, quanto o intercambio commercial os tem muito hoje.

O Commercio entre o Brasil e o Japão tem augmentado consideravelmente, desde que a Missão Economica Brasileira visitou o Japão, em 1936. Entretanto, as negociações feitas pelas companhias esperam que o actual intercambio commercial melhore mais sendo, então, o resultado do novo Tratado Cultural.

O Japão importou do Brasil, o anno passado, mercadorias no valor de... 4[illegible]52.000 de yens, representando 64% do total das importações dos paizes da America do Sul. Esta cifra representa um augmento de mais de 50% com relação ás importações japonezas em 1936 as quaes foram avaliadas em 47.352.000 de yens. O Japão exportou mercadorias cujo valor foi de 15.609.000 de yens, cerca do dobro da cifra alcançada de 8.840.000 yens em 1936.

A maioria das importações feitas pelo Japão, do Brasil, são: algodão natural, couro (não curtido), borracha e as suas exportações são de machinarias, instrumentos e outras mercadorias manufacturadas e productos chimicos.

O seguinte quadro indica o commercio do Japão com o Brasil durante os quatro annos passados.

	Export. Yens	Import Yens
1936	8.840.000	47.352,000
1937	17.385.000	63.815,000
1938	19.388.000	46.172,000
1939	15.609.000	74.662,000

ASPECTOS HISTORICOS DO ESTADO NOVO

SILVIO PEIXOTO

(9)

O Estado Novo veio completar essa obra de reajustamento social, garantindo a atmosfera conciliatória e preparando o advento de uma transformação estrutural das mais amplas proporções, pois equivale á convergência de atividades no sentido comum do engrandecimento do Brasil.

MARCHA PARA OESTE

Entretanto o aparelhamento militar do país e a pacificação social, extraordinários serviços de repercussão futura, precisam ser completados por outro plano administrativo, que num país como a Belgica, por exemplo, seria totalmente supérfluo, porém, no Brasil representa uma correção indispensavel á erros seculares.

Quase toda a fôrça da nossa civilização, que já vai plasmando seus caracteristicos próprios, repousa na faixa do litoral.

O sertão, isolado dos grandes centros, definhava.

E o mal das distâncias...

Os descobridores e primeiros exploradores esbarraram com a muralha formada pela serra do Mar e permaneceram no litoral, em pontos esparsos, como confeitis atirados ás praias.

Houve tentativos de penetração.

Esforços isolados morriam ou logravam apenas uma exploração provisória, um conhecimento inutil do ponto de vista prático.

Não convinha mesmo a Portugal entrar demasiadamente pelo sertão, porque as expedições para esse fim enviadas, corriam o risco de entrar em território concedido ao dominio da Espanha.

Foi a grandiosa epopéia dos bandeirantes que começou a abandonar a fascinação das praias.

Partiam os bandeirantes em busca de ouro e cada bandeira era uma precursora da marcha para Oeste.

A região central da América do Sul, misteriosa e desconhecida, foi percorrida em todos os sentidos por aqueles desbravadores.

Chegaram ao Amazonas, a Goias, a Mato Grosso.

Abriram as portas de um Brasil riquissimo farto de terras, abundante de minérios em cujo têrmo, séculos depois, o gênio diplomatico do barão do Rio Branco iria traçar as fronteiras politicas do país.

Mas as minas, descobertas e exploradas, pouco serviam ao Brasil; o ouro era, pode dizer-se, todo êle canalizado para a metrópole portuguesa, onde uma errônea tendência financeira esbanjava grande parte da riqueza colonial.

Decaiu a febre da mineração.

Salvo em alguns pontos mais próximos do litoral, como o atual Estado de Minas Gerais, não restavam núcleos continuos de civilização.

Flores do pensamento japonês

Traduzindo quatro artigos de original inglês, referentes á literatura niponica, do seu inicio até hoje, e aditando-lhes comentarios e um vocabulario especial, o nosso companheiro João Guimarães acaba de publica-los em volume, sob o titulo de «Flores do pensamento japones».

O PRESIDENTE GETULIO VARGAS

Um estadista como ainda não surgira no Brasil

Conferencia pronunciada pelo sr. Marcondes Filho, em novembro de 1939, no Palácio Tiradentes, durante as celebrações culturais promovidas pelo Departamento de Imprensa e Propaganda em comemoração ao 2.° aniversário do Estado Novo.

(10)

AS PALAVRAS DE GOETHE

Há um profundo conceito de Goethe que é necessário reproduzir sempre que se possa, para o fixar pela repetição e propagar pelo contagio: um conceito que eu colocaria nas praças publicas, na frontaria das escolas, no portal das fábricas nas árvores dos caminhos, para que nunca estivesse ausente no instante de julgarmos o mérito dos homens. E quando Goethe, no Wilhelm Meister, assinala que «pensar é fácil, agir difícil, e agir de acôrdo com o pensamento quasi impossivel».

Dentro dessas grandes palavras não está somente a história de cada ente humano: — os nossos pensamentos da mocidade, engalanando de beleza e de sonho todo o roteiro da existência que se entreabre; a ação durante a vida, pejada de falhas lamentáveis, de terriveis impecilhos, de longas esperas e tristes fracassos; a realização da senectude em que no [illegible] balanço das desilusões se registra que muito se imaginou, pouco se fez e quasi nada se realizou de acôrdo com o muito que se imaginara.

Dentro dessas admiráveis palavras está tambem a história das nações e a através delas que devemos estabelecer o critério para o julgamento dos estadistas. Podemos pensar num Brasil enriquecido e forte, e, pelo pensamento encher de estradas as matas virgens, povoar os sertões, trazer ás cidades, nos cabos elétricos, as grandes cataduras; extrair do seio da terra as imensas riquezas; abarrotar de ouro as arcas do govêrno, resolver, enfim, os grandes problemas nacionais. Pensar e fácil. Cada um pensa o que quer. Agir já é diferente. Aparecem os obstáculos intransponiveis, surgem os erros de cálculo para cada pensamento: as cachoeiras ficam distantes, as jazidas tão profundas, o ouro tão dificil! E depois não há povo bastante para enviar aos sertões. Por isso, agir de acôrdo com o pensamento é quasi impossivel.

Na minha vida encontrei muita gente oferecendo á mancheias, pensamentos para o bem do Brasil. Muito menor foi o numero dos que encontrei agindo quasi todos, afinal, vencidos pelas imponderáveis, ou pelas irrealidades.

Mas pensando, agindo e agindo seguramente de acôrdo com o seu belo pensamento — 1925, 1930, 1939 — confessemos, senhores, que êsse quasi impossivel é a primeira vez que nos ocorre. Confessemos que o destino nos oferece um rarissimo exemplo de capacidade para ante-ver, trabalhar e realizar. Confessemos que não se faz necessário a autoridade cultural e politica para investigar, concluir e doutrinar esta verdade. Quem quer que preste o seu depoimento objetivo e singelo, mas revestido de sinceridade absoluta é forçado a reconhecê-la, e a convocar a conciência dos brasileiros para que se proclama, ante a suprema autoridade do fato consumado a prodigiosa capacidade dêste estadista que soube ver o Brasil com os olhos do passado, do presente e do futuro, dos que já morreram, dos que agora vivem, dos que inda vão nascer, e obteve por direito de conquista espiritual o titulo de chefe constitucional do Estado Novo, que não veio buscar, mas que a multidão lhe outorgou.

NAS PLANICIES E NAS VA'RZEAS

E' assim que o vemos e sentimos nas planicies e nas várzeas onde se agitam as forças fragmentárias da nação, onde lidam, na febricitação da vida os trabalhadores das indústrias, do comércio e das lavouras; onde atuam os representantes do capital, da propriedade, da familia e das profissões: onde cantam as juventudes das escolas.

E' assim que o continuaremos a sentir e a ver.

Quando uma nação encontra o homem que as realidades exigiam; quando uma nação pode convencer-se pelos pensamentos, palavras e obras do passado que o seu guia conhece os meandros do futuro — é necessário que em tôrno dele se congreguem todas as fôrças materiais, intelectuais e morais para que se cumpra inteiramente êsse estupendo destino, que consubstancia o destino da propria nação em marcha decisiva para a frente e para o alto, sob pena de trairmos o nosso.

Na infinita beleza dêsse esforço cabem todos os brasileiros, dos mais humildes aos mais poderosos, a mocidade e a velhice, os que nele já estão empenhados e os que ainda não chegaram, porque é o próprio guia quem, depois de criar o Estado para a realidade e para a nacionalidade acaba de declarar que a revolução continua nas almas, prossegue no espirito dos que desejem a renovação do Brasil — Mas que, na revolução brasileira, não há vencedores nem vencidos.

Sim! Não há vencidos nem vencedores, dentro de uma nação que atravessou a sua grande crise de saude e dela se levantou como um gigante talhado para as grandezas, para crescer, criar, subir.

— Existe, apenas, um esplêndido semeador, de idéias, um magnifico realizador, um admirável dominador de convicções, um prodigioso vencedor: — o Sr. Getulio Vargas. (Fim)

Bambú

O bambu' serve como materia prima para as industrias de papeis; as outras arvores xue fornecem essas materias primas já foram muito exploradas e começam a escassear em diversos lugares do mundo. Dahi julgamos que o bambu' pode vir a transformar-se em boa renda. Alias no Japão e na China, o bambu' já ha centanas de annos que é utilizado para esse fim.

Para que a sua exploração seja compensadora, as plantação deverão ser feitas proximo ás linhas de estradas de ferro ou no litoral, para facilidade no transporte.

No Himalaia o bambu' dá bem até á uma altitude de 3.400 metros.

Só na Asia existem 150 typos de bambu's e na America do Sul 70 variedades. Aos 12 mezes, o bambu' attinge 30 metros de altura e com este tamanho ja serve para as industrias de papeis.

Segundo a opinião de Mr. Rait — que estudou por muito tempo, na India, a cultura do bambu' — este paiz só pode fornecer 10 milhões de toneladas de bambu verde para a referida applicação industrial. O governo da Italia, reconhecendo o grande valor que a cultura do bambu' representa no futuro, já tem grandes plantações no Somali, em sua colonia na Africa O litoral da Africa, com boas communicações terrestre e maritimas, presta-se muito a essa cultura.

São os seguintes os typos mais apropriados para a fabricação de pasta para as industrias de papeis: Bambusa arundinacea, Bambusa polymorpha, Bambusa Tulda, Cephalostacham pergracile, Melocanna bambusaides.

O Brasil importou, em 1930, 39.222 toneladas de pasta de madeira, no valor de 461.173 libras ouro, para as industrias brasileiras de papel. Em 1930 importou o Brasil 7 toneladas apenas de bambu verde, no valor de 73 libras. Um hectare de cultura de bambu' dá 2 toneladas de pasta o custo de uma tonelada de pasta de bambu' para fabricação de papel, é de 5 libras e 10 «shillings», sendo, portanto mais barato do que as pastas da madeira, de pinho.

O bambu' verde não serve, em seu estado natural para a exportação. Os bichos estragam-no durante a viagem para o exterior, e tambem é atacado pela podridão: sendo assim, transforma-se o bambu', chimicamente em materia que, conservada, alcança melhores preços no exterior; ahi, essa materia prima é utilizada para a obtenção da pasta para papel. — «Revista Agronomica»

農業

農業常識

カッピン・ゴルツーラ 割合判つてゐない話

カッピン・ゴルツーラは聖州内至る處に半野生狀態で繁く分布し、最も農家にはなじみの深い牧草である。一面余りにも身近に在るため却つてその特性については無智な點が有りすぎる。以下農常識として述べることにする

原產地 アフリカサハラ沙漠以南ケープタンまで至る處に自生し、產地によつて多少の地方變種がある。熱帶、亞熱帶中相當雨の多い地方なら處を嫌はず良く生育する。現に聖州ではセラード掛つた處でも少しの手入で充分生育することは周知の通り。南大河では冬の寒さで育たないといふ

ブラジルへは黒人奴隷と一所に衣類か荷物に混つて入つたらしいと物識りが言つてる程凸い、世界的にこの牧草が有名になつたキッカケは伯國から北米へ行つて後のことに屬する。ブラジル以外では大抵ブラジルやに草と稱へてゐるらしい

聖州の氣候では年四回刈取が可能でアールケーリ當り十万キロの青草、三万キロの乾草はに採れる、現行の如く牛を放飼せず刈草で牛を飼ふとすれば五八頭は充分養へると農務省が發表してゐる、用途は牛の肥育に最も適當し、肥育以外の目的には此の牧草と併行に油粕類、豆の類等を混用すべきである

何物も酷使しなければ止まない草性を利用して根絶困難な他の草類の絶滅を目的として此牧草を採用すると良い、例へば雜作物を作り雜草例へばコルション、アマルゴーゾ等が侵入した場合、輕くアラドを通して此の牧草の種を播き二年も放置して置けば、何時とは無しに惡質雜草は退散する最も厄介なグラマでさへこれには降參する

又一說にゴルツーラはカラバト及び蛇を退散させるといふ者がある、眞實か否かはカボクロが良く知つてゐる

今が種まきに最も良い

伯國と蓮根 良く出來ますぞ

日本人は伯國へ色々と野菜物をもち込んでこれを馴化させてゐる、昨今では聖僧院に根などは完全に伯國人間に嗜好が固定してゐる

最近では蓮根までフェイラに出始めた これ等ブラジルでは最も作られて良い野菜であつて、割合普及してゐないのが不思議に堪えない、多分蓮根が思ふ様に入手出來なかつたためであらうが、今では根が賣出される程度になつたからこの點は完全に解消したと言つて良からう

伯國至る處に在るブレージョ利用には持つて來いであるが不思議なことに伯國では排水溝を作つて植える方が良いと某農家が語つてゐる。最も好ましくない處は湧き出の水がある場所である、地濕が何時も冷えてゐるためらしい

澱粉質一〇・七、蛋白二、三し野菜であることは勿論、支那では不老長壽の藥だと信じてゐる、ヴイタミンCの含有量は斷然多い

肥料はコジンニャの灰、骨粉を澤山與へると花も根も美事に出來る

日本……の……話

千頭のパパイ

羊の電撃的改良

戰爭と共に濠洲名產羊毛は敵性國家へは賣つてやらないと英國がイチ惡るを始めてゐる、この飛沫は日本へも深刻に波及し大問題となつてゐる、現在ブラジルで使つてゐる毛糸が殆ど大部分日本品、即ち濠洲の羊毛であることでも判ろうといふものである

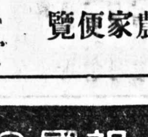
皮肉なことに日本の勢力圏に入つた滿、蒙、北支地方は世界有數の羊產地である、但しその毛は物の役に立たない抵の品である、これに着眼した祖國は急速にこれを改良するため妙案を樹てた 羊の人工受精である

極良の種メリーノー羊の精液を採取して雜種羊を人工受精に且つ急速に繁殖させ、出來るだけ短期間に良質羊毛を自給する名案である

一體一頭の雄羊の精液を上手に使ふと最低千頭の牝羊を孕すことが出來る、ロシヤの例では一頭で約一万頭を受精させてゐるから物凄い、滿二年で羊は充分毛を生產するから此分で行けば東亞圏内の羊毛工業はまたゝく間に自給權を獲得しそうな形勢である

貴重な種畜もこの程度まで利用が出來れば洵に安直な限りである

農家便覽



日本人は何故伯棉を澤山買ふか、これはシベリヤ經由で對獨輸出をやつてゐるんであると聖市イタリア人間で專ら取沙汰、ひいきの引倒しの觀がある

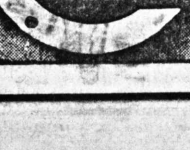
◈

戰爭で困つたのは北米葡萄酒業、地中海コルク杜絶で青いき

◈

小犬のいたづらで、野菜畑が危險な際はタバコエキスを撒布すべし、犬の鼻にニコチンの匂ひは何よりも禁物、嫌んでも近寄らないです

祖國の味で
故國へ奉仕
HSK
濱名湖印
うなぎ蒲燒



濱名湖食品株式會社

麹のもと 一ビン 五釺
花麹 一包(二〇〇瓦入) 一、五〇〇
時報商事部

ADUBO GUERREIRO
Com. de Agricultura, Imigração e Colonização
中央事務所: São Paulo R. Libero Badaró, 39 (CAIC) 電略: CAIC 電話: 2-3105, 支線 46
: ANTONIO PRADO JR. HEITOR FREIRE DE CARVALHO. EDMUNDO NAVARRO DE ANDRADE

ゲレイロ肥料は農耕地に必須缺く可からざる優秀なる全要素を含有し更に六一%以上の有機質を含み土地に容易に融合して腐植土となる。有機質なくして沃土なく、化學肥料の施肥にも支障を來す。我肥料に就ては以下の世界的權威ある諸大家が實證されたり。亞熱帶地質研究家ドトール・パウロ・バジェレーロ、合理施肥技術大家カンピーナス農事試驗場技師ドトール・テオドレッド・デ・カマルゴ前聯邦農務局農業化學研究部長ドトール マリオ・サライーバ

サンパウロ・パラフッダ驛積込み 一トン當り値段
一トンから一〇トンまで 三〇〇釺
十一トンから二五トンまで 二九五釺
二六トンから五〇トンまで 二九〇釺
五一トンから一〇〇トンまで 二八五釺

AZUMA KIRIN·AZUMA KIRIN·AZUMA KIRIN
AZUMA HOTORI·AZUMA HOTORI
東
麒麟
鳳